

三宅右近

喜寿記念公演

第九回

三宅狂言会



番組

ちやさんばい

茶子味梅

三宅近成

はぎだいまよう

萩大名

高澤祐介

ぶあく

武悪

三宅右矩

ふくのかみ

小舞 福の神

肩衣画・黒柳徹子（昭和五十年代作）

三宅家所蔵

平成30年4月21日(土)

午後2時開演 (1時15分開場)

喜多能楽堂

三宅右近 喜寿記念公演

第九回 三宅狂言会

茶子味梅

唐人 三宅 近成
 妻 前田 晃一
 教え手 大塚 出

笛 成田 寛人
 小鼓 飯富 孔明
 大鼓 大倉 慶乃助
 太鼓 林 雄一郎

萩大名

大名 高澤 祐介
 太郎冠者 金田 弘明
 亭主 吉川 秀樹

武悪

武悪 三宅 右矩
 主 三宅 右近
 太郎冠者 三宅 近成

福の神

小舞 三宅 右近
 地謡 三宅狂言会一同



茶子味梅

ちやさんばい

箱崎の地で日本人の妻を持つて暮らしている唐人の男。この頃男は、妻には意味のわからない「日本人無心我唐妻恋」と独り言をつぶやいては、泣き暮らしていました。心配した妻が、教え手に夫の言葉の意味を尋ねると、唐にのこした妻を恋しがっているのだらうと教えられます。妻は悔しがるも、夫を慰めようと：

萩大名

はぎだいみょう

上京していた田舎大名は、太郎冠者の勧めで、萩の花が名所の庭に見物

に行こうとしますが、亭主に当座（和歌）を詠まされると聞くと、嫌がつて行こうとしません。太郎冠者が歌を教えても覚えられないというので、その場で扇を使って密かに教えようと約束し、やっと大名を連れ出しますが：

武悪

ぶあく

不奉公を重ねる武悪に対し、とうとう堪忍袋の緒が切れた主人は、太郎冠者に太刀を持たせて、武悪を成敗せよと命じます。太郎冠者は、泣く泣く武悪を騙し討ちにしようと川辺に誘い出しますが、長年の同朋をどうしても斬ることができません。太郎冠者は武悪を逃がしてやり、主人には嘘の報告をするのですが：

緊迫感みなぎる前半部と、狂言らしい大らかさに満ちた後半部の鮮やかなコントラスト。台詞劇たる狂言の真骨頂、屈指の大曲です。



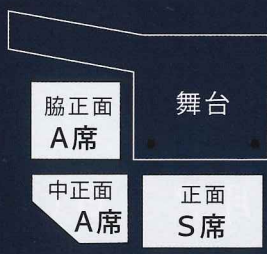
【主催】

三宅狂言会

2018年4月21日(土)
喜多能楽堂

A席 6,000円
 B席 5,000円
 自由席 3,000円

14:00 開演
 (13:15 開場)

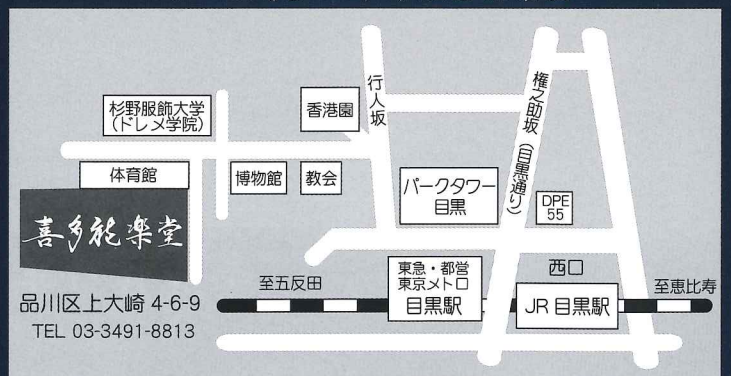


座席表

2階 自由席

お申し込み・お問い合わせ
 Tel/Fax : 03-6766-7325 (三宅)
 info@miyake-kyougen.com
 http://miyake-kyougen.com

十四世喜多六平太記念能楽堂



品川区上大崎 4-6-9
 TEL 03-3491-8813

JR、東急目黒線、地下鉄三田線・南北線の目黒駅西口より徒歩7分。